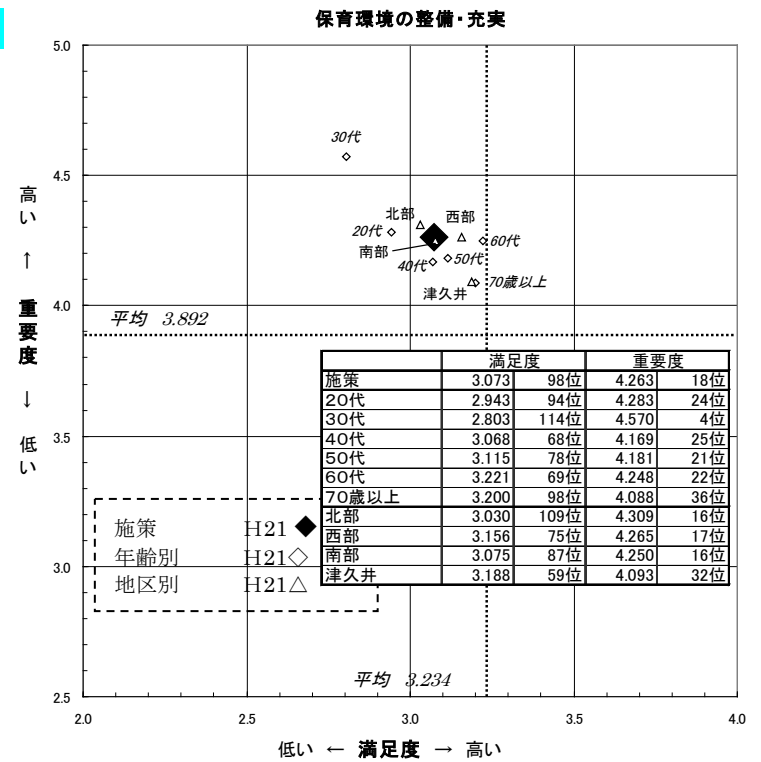


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.073で全119施策の中で98番目。
- 重要度は4.263で18番目である。
- 改善要望度は0.376で6番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 (2) 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 (2) 1	
合計		6		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	待機児童解消に向けた施策として、定員の拡大が必要であるが、施設を整備する用地の取得が困難であるとともに、施設整備に対する補助金等の確保が昨今の厳しい財政の中で難しい状況である。
解決策	これまでの施策を継承しながら、用地取得が難しい地域での建物内保育所の整備、認定保育室の拡充など保育需要の実態を把握し施策を進めていく

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことも課題である。原因を分析し、満足度を向上させるよう、積極的に構成事務事業を見直されたい。	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向